

## 個別注記表

### 1.重要な会計方針に係る事項に関する注記

#### (1)有価証券の評価基準及び評価方法

子会社株式及び関連会社株式

移動平均法に基づく原価法によっております。

#### (2)たな卸資産の評価基準及び評価方法

販売用不動産、仕掛販売用不動産、未成工事支出金

個別法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)によっております。

#### (3)固定資産の減価償却方法

有形固定資産 ……………

(リース資産を除く)

建物(建物附属設備を除く)については定額法、その他の有形固定資産については定率法によっております。

ただし、法人税法の改正に伴い、2016年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については、定額法を採用しております。

なお、主な耐用年数は次のとおりであります。

建物 …………… 3～50年

構築物 …………… 2～30年

機械及び装置 …………… 2～17年

車両及び運搬具 …………… 6年

工具器具及び備品 …………… 2～20年

無形固定資産 ……………

(リース資産を除く)

ソフトウェア(自社利用分)については、社内における見込利用可能期間(5年)に基づく定額法によっております。

長期前払費用 ……………

定額法によっております。

#### (4)引当金の計上基準

貸倒引当金 ……………

債権の貸倒損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

賞与引当金 ……………

従業員に対して支給する賞与に充てるため、当期に対応する支給見込額を計上しております。

役員賞与引当金 ……………

役員に対して支給する賞与の支出に充てるため、支給見込額に基づき当期末において発生していると認められる額を計上しております。

退職給付引当金 ……………

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上しております。なお、退職給付見込額の期間帰属方法、数理計算上の差異及び過去勤務費用の費用処理方法は以下のとおりです。

##### ① 退職給付見込額の期間帰属方法

退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当事業年度末までの期間に帰属させる方法については、給付算定式基準によっております。

##### ② 数理計算上の差異及び過去勤務費用の費用処理方法

数理計算上の差異は、5年による定額法により按分した額を発生翌事業年度から費用処理することとしております。また、過去勤務費用については、5年による定額法により按分した額を発生した事業年度より費用処理することとしております。

役員退職慰労引当金 ……………

役員の退職金の支払に充てるため、内規に基づく期末現在の要支給額を計上しております。

#### (5)消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税抜方式により処理しております。

なお、固定資産に係る控除対象外消費税等については「長期前払費用」に計上し、5年間で均等償却を行っております。その他の控除対象外消費税等については、当事業年度の期間費用としております。

#### (6)収益及び費用の計上基準

ファイナンス・リース取引に係る収益の計上基準

リース料受取時に売上高と売上原価を計上する方法によっております。

#### (7)追加情報

(保有目的の変更)

前事業年度末において固定資産に計上していた土地2,128,398千円及び建物1,972,998千円を販売用不動産に振替しております。

#### 2. 表示方法の変更に関する注記

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)を当事業年度の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

#### 3. 貸借対照表に関する注記

##### (1)担保に供している資産

土地 191,775千円

上記に対応している債務

テナントビル事業会社のための借入保証債務 40,276千円

(2)有形固定資産の減価償却累計額 8,996,541千円

##### (3)保証債務

テナントビル事業会社のための借入保証債務 147,872千円

##### (4)関係会社に対する金銭債権債務

関係会社に対する短期金銭債権 14,586,582千円

関係会社に対する短期金銭債務 1,042,232千円

関係会社に対する長期金銭債権 179,946千円

関係会社に対する長期金銭債務 6,160千円

#### 4. 損益計算書に関する注記

関係会社との取引高

営業取引によるもの

仲介手数料収入 80,336千円

不動産賃貸収入 230,456千円

不動産管理収入 88,608千円

その他の営業収入 465,527千円

不動産賃貸費用 6,672,269千円

不動産管理費用 164,432千円

完成工事売上原価 8,425,154千円

販売用不動産原価 44,558千円

その他の営業費用 141,022千円

販売費及び一般管理費 321,524千円

営業取引以外によるもの

固定資産購入取引 1,654,249千円

受取利息 5,554千円

受取配当金 58,560千円

支払利息 1,529千円

5株主資本等変動計算書に関する注記

(1) 発行済株式の種類及び総数

株式の種類	当事業年度期首株式数	当事業年度増加株式数	当事業年度減少株式数	当事業年度末株式数
普通株式	14,566,093 株	-	-	14,566,093 株
合計	14,566,093 株	-	-	14,566,093 株